

# ユーロ円CB発行に関する補足説明資料

2024年6月4日

株式会社トリドールホールディングス

東証プライム 証券コード: 3397

## SLOGAN

食の感動で、この星を満たせ。

### 私たちのめざす未来

出発点となる「食の感動」と最終地である  
「この星を満たす」をつなげた強い意志の表明です。

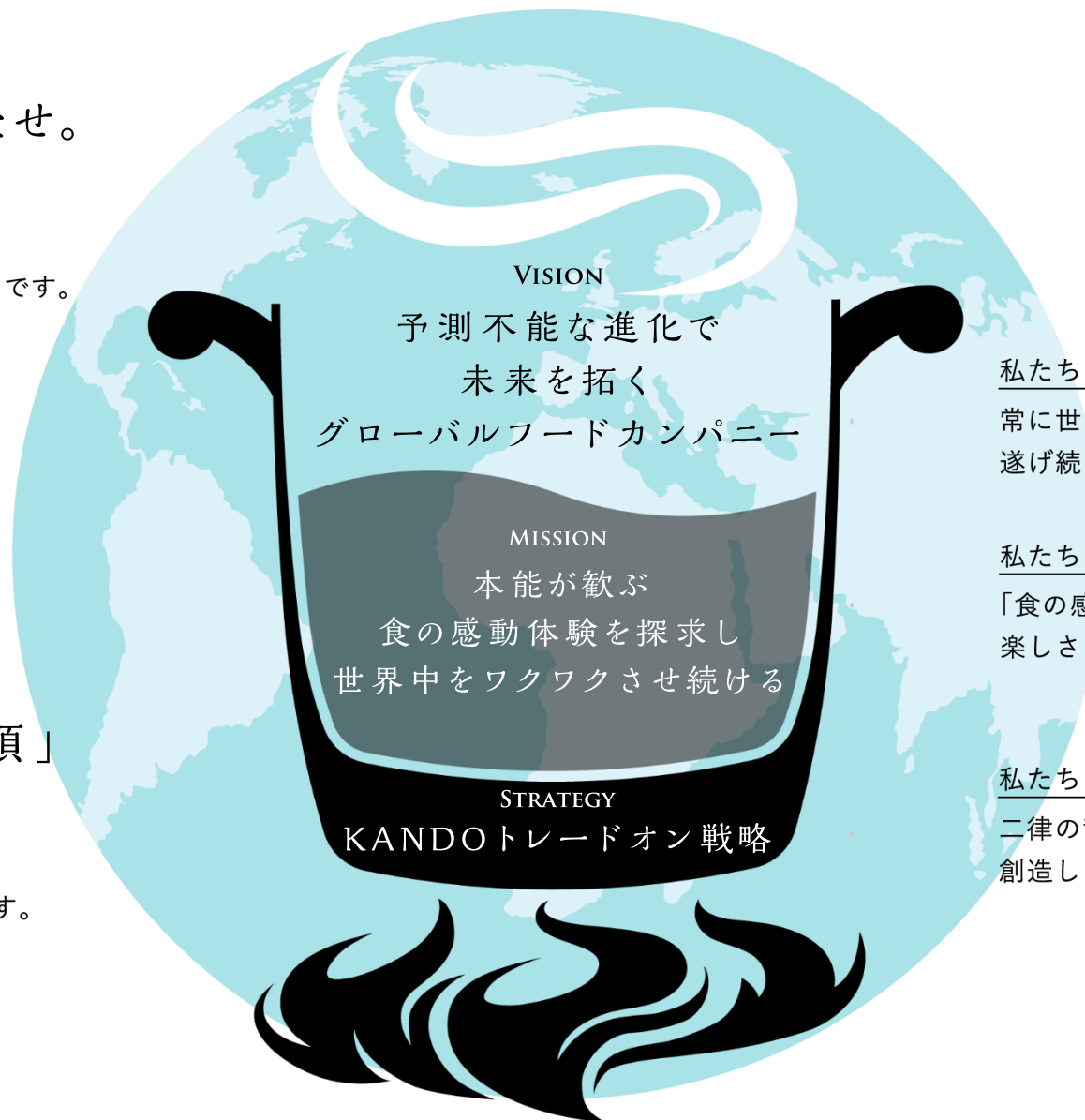
## PHILOSOPHY

成長哲学「トリドール3頂」

### 私たちの価値観

創業者による不変の哲学を礎にして日々の  
行動につなげ新たな感動体験を創り続けます。

- 1 「KANDO」の頂へ
- 2 「二律両立」の頂へ
- 3 「称賛共助」の頂へ



## VISION

予測不能な進化で  
未来を拓く  
グローバルフードカンパニー

## MISSION

本能が歡ぶ  
食の感動体験を探求し  
世界中をワクワクさせ続ける

## STRATEGY

KANDOトレードオン戦略

### 私たちのあるべき姿

常に世の中の期待を超え予測不能な進化を  
遂げ続ける他にない存在を目指します。

### 私たちの使命

「食の感動」を進化させ続けて世界中の喜びや  
楽しさを生み出すという存在意義を表現しています。

### 私たちの戦略

二律の背反ではなく両立をめざし他にない感動体験を  
創造して仲間と共に世界中に届け続けます。

項目	2031年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債
発行会社	株式会社トリドルホールディングス
発行形態	ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債
募集市場	欧州及びアジアを中心とする海外市場（但し、米国を除く）
年限	7年
発行額	220億円
発行決議日	2024年6月4日（火）
条件決定日	2024年6月4日（火）から2024年6月5日（水）午前8時（日本時間）までの間のいずれかの時間
払込期日	2024年6月20日（木）
償還期日	2031年6月20日（金）
社債利息	0.00%
募集価格	102.5%
発行価額	100.0%
償還価額	100.0%
当初転換価額	未定
付帯条項	転換制限（CoCo）条項（130%） + プット条項（5年後100%）
資金用途※	The Fulham Shore Limitedの買収資金のパーマナント化 約160億円 / 海外新規出店等の成長投資に係る資金 約58.5億円
ロックアップ°	当社 / 引受契約締結日から払込期日後180日を経過するまでの期間
アクティブ・ブックランナー	Morgan Stanley & Co. International plc
パッシブ・ブックランナー	Daiwa Capital Markets Europe Limited / SMBC Nikko Capital Markets Limited

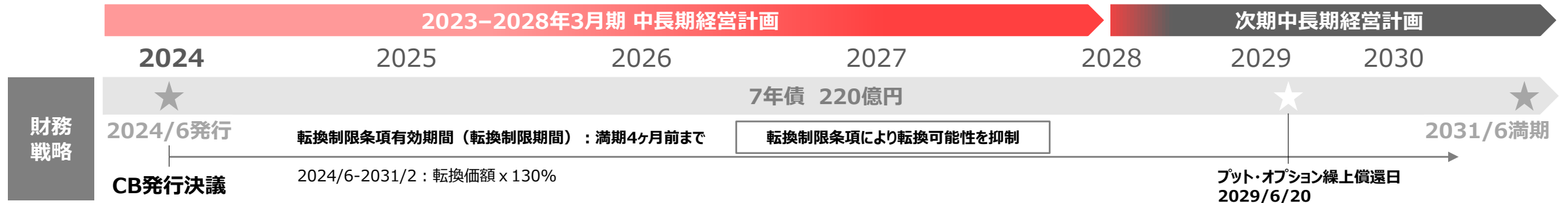
※発行額から発行諸費用を差し引いた手取金約218.5億円の用途

世界的な金融市場及びそれを踏まえた資金調達環境が不透明な状況が続く中、資本コストと株価を意識した経営に関する考え方の枠組みに基づき、中長期経営計画で掲げた「真のグローバルフードカンパニー」への進化を促進する戦略的な資本政策及び財務の健全性・効率性の向上を企図し、本CBの発行を決議

## 本CB発行の 意義・目的

- 当社は「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、世界で唯一無二の日本発グローバルフードカンパニーになることを目指し、足元まで積極的な出店攻勢、The Fulham Shore Limitedの買収を含むM&A等を実施
- 2022年5月には「二律両立」をキーワードとした「2023-2028年3月期中長期経営計画」を策定し、4つの重点テーマと11の取り組みを定義。2024年3月期には、過去最高の売上収益及び事業利益を達成し、3か年計画及び中長期目標を上方修正する等、中長期目標の達成に向けて着実に事業を推進
- また、更なる企業価値の増大に向け、資本コストと株価を意識した経営に関する考え方の枠組みを策定。投資リターンの最大化及びWACCの引き下げの2要素を軸とし、キャッシュアロケーションを強く意識した企業価値の増大を目指す経営を促進
- 今後も、「二律両立」を実現しながら「食の感動体験」を世界中に広げ、中長期目標で掲げた**「真のグローバルフードカンパニー」への進化を促進する戦略的な資本政策及び財務の健全性・効率性の向上**を目的とし本CBの発行を決議
- 本調達資金を用いたThe Fulham Shore Limited買収資金のパーマネント化による間接金融の調達余力の確保や、資金調達手段の多様化を図ること等による**資金調達戦略の柔軟性の向上**、ゼロ・クーポンの資金を確保することによる、**キャッシュ・ベースでの金利コストの最小化**を企図
- 転換制限条項の活用により、**負債性の高い商品設計**を実現しつつ、さらにプット条項を付与することで、**長期性資金の確保可能性を獲得**し、相対的に**高い転換プレミアム**を追求

更なる成長に向けた本件資金調達に関して、転換制限条項の活用により、**負債性の高い商品設計**を実現しつつ、**プット条項**を付与することで、**長期性資金の確保可能性を獲得**し、**相対的に高い転換プレミアム**を追求



4つの重点テーマと11の取り組み

## 感動体験の追求

感動体験の創出・磨きこみ／人材育成と定着化／感動体験を生む舞台づくり

## 事業ポートフォリオの量・質拡大

M&Aによる新たな業態獲得／選択と集中／ブランドインキュベーション

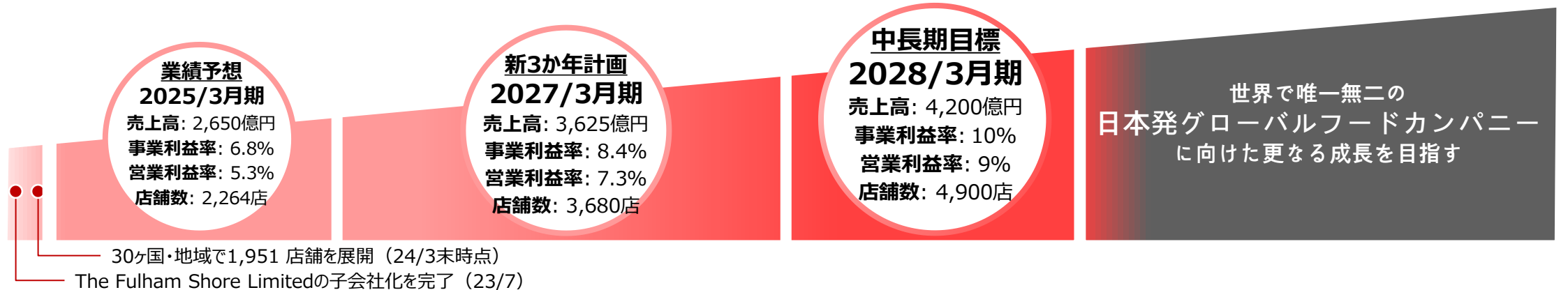
## バディ布陣の確立

新規有カバディの探索／重要市場のバディによる業態同時展開

## NxN展開を支える基盤構築

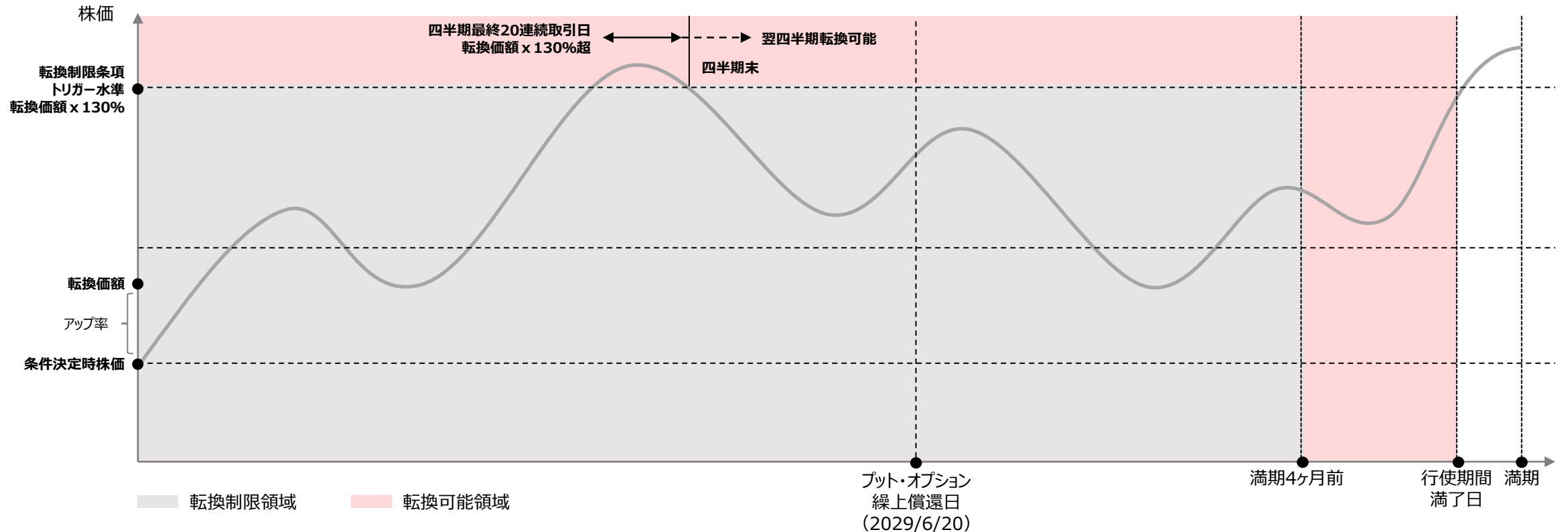
ブランド基軸でのグローバル連携／グループ機能のグローバル化／出店力の強化

事業戦略



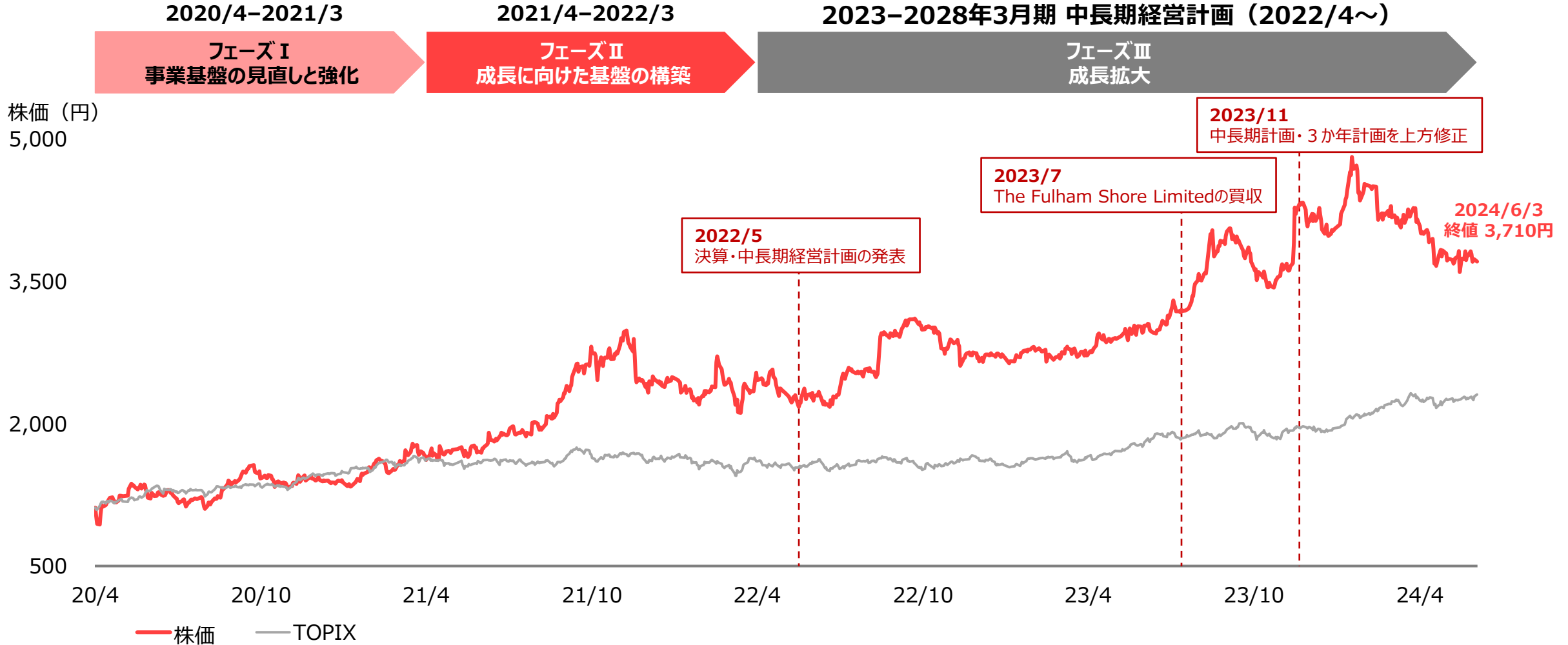
転換制限条項の付与により、期中の株価が転換価額の130%（～満期4ヶ月前）を一定期間超えて推移しない限り、CB投資家が転換請求することのできない、負債性の高いスキームを採用

転換制限条項概念図※



※株価推移はイメージであり、当社の動き予測又は保証するものではありません

2023-2028年3月期 中長期経営計画スタート以降、現在の当社株価は高水準で推移しており、当該株価水準で本CBを発行することで、良好な発行条件での資金調達を実現可能



本資料は、2024年6月4日に株式会社トリドールホールディングス（以下「当社」といいます。）が公表したプレスリリース「2031年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の発行に関するお知らせ」の補足説明資料として作成されたものであり、国内外を問わず当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競争、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

本資料には、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていることがありますが、これらは、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載される当社グループにおける潜在的な収益機会に関する情報は、一定の仮定に基づき当社が現時点において想定する将来的な収益機会に関する潜在的な可能性（規模感）を示すものに過ぎず、特定の時点における当社の業績についての予想、計画、見込、目標等を示すものではなく、また、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。

本資料は、当社の転換社債型新株予約権付社債の発行に際して一般に公表するための資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。なお、同社債については国内における募集又は売出しは行われません。また、本資料は、米国を含むあらゆる地域における同社債の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて同社債の登録を行うか又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において同社債の募集又は販売を行うことはできません。米国において証券の募集又は販売が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成され、発行会社から入手可能な、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報及び財務諸表を含む英文目論見書が用いられます。なお、本件においては米国における同社債の募集又は販売は行われず、同社債の登録も行われません。



TORIDOLL→